

NGO 設立に至る流れとこれまでの活動

1994年～

日本国政府アンコール遺跡救済チーム (JSA) の活動

チア・ノル個人の活動

遺跡修復
石材加工

技術指導
人材養成



小学校
村内インフラ

村落支援
教育支援



2005年 6月

ローカル NGO として

JST 誕生

Joint Support Team
for Angkor Preservation
and Community Development

アンコール遺跡の保全と
周辺地域の持続的発展のための
人材養成支援機構
代表 チア・ノル



2005年～

アンコール
やまなみ塾

植林活動

織物・窯業
従事者
職業訓練

井戸の寄付

コミュニティー
センターの
建設・拡充

環境絵本の
作成・配布

JST ツアーの
企画・実施

HP・ブログ
の開設

2009年

子供たちのための
アンコール遺跡社会見学の実施

村での教育事業の拡充



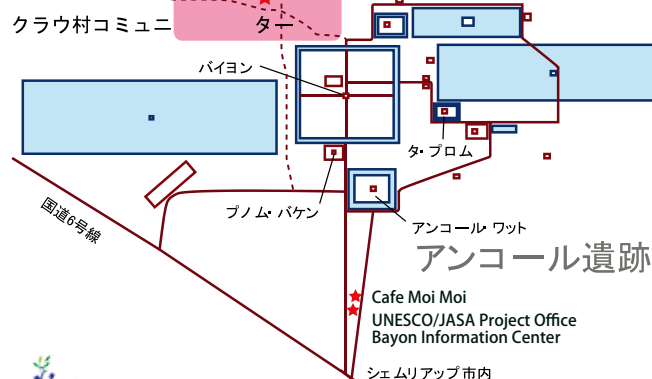
2010年～

JST への支援グループ

NPO 法人 AMATAK
アンコールやまなみファンド
幸田サーキット YRP 桐山
Cafe Moi Moi
紀南ユネスコ協会
(一財)国際開発センター (IDC)
聖心女子学院
田辺市国際交流協会 (TIES)
自立のための道具の会
三井物産環境基金

日本国政府アンコール遺跡救済チーム
リサイクルの会
東京新橋ロータリークラブ
東京レインボーロータリークラブ
常滑ロータリークラブ
(株)三田商会
日本社会事業大学
NPO 法人 オアシス
NPO 法人 コミュニティ事業支援ネット
はじめ塾

アンコール・クラウ村



JST 連絡先

JST ホームページ: <http://www.jst-cambodia.net>

メールアドレス: info@jst-cambodia.net

JST メインオフィス in カンボジア

住所: Group 4, Phum Tropeang Ses, Khum Kokchork, Srok Siem Reap

担当: 小出 陽子 / 吉川 舞 電話 / FAX: +855-(0)63-760-249

JST 日本窓口 (早稲田大学理工学部建築学科中川研究室)

住所: 〒 169-8555

東京都新宿区大久保 3-4-1 55号館 N棟 8階 10A

担当: 清野 有希 電話 / FAX: 03-5286-3575



JST 活動へのご協力をお願い

活動にご賛同頂ける方からのご寄付をお待ちしております

■カンボジア振込先

Cambodia Commercial Bank Limited Siem Reap Branch

口座名: JSAC 口座: 003-2-01394-8-840

Swift Code: SICOKHPP

■日本振り込み先

郵便貯金 ぱるる 名義: ジェイアンドエスエーシー

口座: 記号 10010 番号 97367631

2010年 4月
活動のご案内



JST

アンコール遺跡の保全と

周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構



Joint Support Team

for Angkor Preservation and Community Development

村でもできる！教育事業

JSTでは、村の子供たちの教育環境を充実させる！という目標を掲げています。2009年では多くのご協力とご支援により、活動が多岐にわたり充実し始めた1年でした。2006年から続く英語教室をはじめ、新たに公共教育の現場にはない教育コンテンツを提供しています。

村の子供たちのための美術スクール



シェムリアップ在住の日本人の先生による美術スクール。クレヨンで絵を描いたり、折り紙で切り絵を作ったりする生まれて初めての体験に、みんな目を輝かせながらそれぞれのイメージを自由に表現しています。

←驚くほどの集中力を見せる子供たち

カンボジア人保母さんによる巡回教室（音楽・衛生）

期間限定のカンボジア人保母さんによる巡回教室では、音楽指導と衛生教育を中心に、工作や様々な遊びを教えてもらいます。日本から届いた中古オルガンも大活躍しています。

お外で遊んだら手を洗おう！→



カンボジア人の先生による日本語教室



毎週土曜日の日本語教室は基本のひらがなから。「いぬ～、なす～」カードを読み上げる子供たちの元気な声が響きます。日本語の歌を覚えたり、日本の方々と一緒に楽しむ機会も増えました。

←元気に「先生、こんにちは！」

子供たちが英語や日本語を習得すれば、進学や就職、遺跡保存修復の仕事に就くなど、将来の可能性が広がると村の大人たちは大変期待しています。都市部と農村部との教育格差が広がりつつある中で、その現状を少しでも変えるために私達ができること。その一つが子供の教育を充実させ、農村部の子供でも未来にたくさんの希望を持てるようにすることです。JSTでは、今後も子供の未来を育む活動をさらに続けていきたいと考えています。



↑見て見て、上手にできたよ！

遺跡修復と教育をつなぐ！

遠足や社会見学などのプログラムがないカンボジアでは、多くの子供たちがまだ一度もアンコール遺跡を訪れたことがありません。古代の王都アンコール・トムに隣接しているアンコールクラウ村でも、遺跡に足を踏み入れたことがない子供たちがいます。ましてや、アンコールの歴史や遺跡の修復活動について詳しく学ぶ機会は多くはありません。そこで、カンボジアの子供たちのために、アンコール遺跡救済チーム（JSA）の専門家が構成するJSTだからこそできる活動を始めました。

バイオン・インフォメーション・センター開館

2009年8月、シェムリアップのJASAオフィス内に、バイオン・インフォメーション・センターがオープン。地域の人々や観光客の方に、パネルや映像でアンコール王朝の歴史や遺跡修復の現状を紹介しています。お客様からは「遺跡がもっと面白くなる」と好評。さらにカンボジアの子供たちへの教育事業の拠点としても活用しています。JSTは3名のカンボジア人女性スタッフを迎え、センターの運営を行っています。（Bayon Information Center → <http://www.angkor-jsa.org/bic/>）

遺跡修復ワークショップ

JSTの活動拠点であり、修復作業員の子供が多いアンコールクラウ村では、遺跡や修復作業を知ってもらおうと専門家がワークショップを実施しています。



↑ソティ先生の「修復はこんな仕事だよ」

小学生のための社会見学会

シェムリアップ地域の小学6年生を対象に社会見学会を実施。バイオン・インフォメーション・センターとバイオン寺院南経蔵の修復現場を、半日かけてカンボジア人専門家とJSTスタッフが丁寧に解説します。2009年11月の第一回社会見学会には、チェイ小学校の6年生60名と先生3名が参加。修復の専門家の説明を聞きながら、修復の現場に直接触れる経験は子供たちの心に深く刻まれたようです。

（子供たちからの感想をJSTのHPのブログに掲載しています！）

今後、社会見学会をJSTの中心活動の一つとし、多くのカンボジアの子供たちが自国の文化を理解し、祖先が築き上げた文化的遺産を次世代に引き継いでいくきっかけを作っていきたいと考えています。



次々に飛び出す子供たちからの質問→

アンコールから未来に向けて！

植林&環境教育

2006年よりアンコール地域で植林活動を行ってきたJST。コキヤベンなど、雨や白蟻に強く、建材に多用されるカンボジアの樹木の苗を村人とともに、4年間で4600本以上植樹しました。日本から訪れた学生やJSTツアーの方にも、植樹体験をしていただいています。2010年からはアンコール地域の小学校で植林を核とした環境教育も実施し、豊かな森を未来に繋いでいきます。

織物

アンコールクラウ村の女性たちの自立に向けて、JSTでは、20代の女性たちによる手織りリネンスカート（カンボジア語ではクロマーと呼びます）の製作を支援しています。独自の柔らかい色合いが日本でも人気です。

新柄にも日々チャレンジしています！→



JST オリジナルツアー

遺跡修復現場の見学やクラウ村の子供たちとの交流、カンボジアで活動する様々なNGOの視察、農村体験など、様々な角度からカンボジアを“体感”できるオリジナルツアーを企画しています。クラウ村コミュニティセンターやバイオン・インフォメーション・センターなどカンボジアを紹介する拠点も整ってきました。カンボジアのことをより身近に感じてもらいたいというJSTの願いと、新たに誕生した活動基盤のおかげで、JSTが企画・実施するツアーもますます充実してきました。クラウ村ファンの支援者の方々に加え、小学生から大学生、社会人、第二の人生を楽しむ方まで幅広い層の人々がツアーに参加しています。JSTツアーの特徴は、じっくりとカンボジアに向き合ってもらえること。ご希望に合わせてツアーを企画していく中で、JST自身も新たなカンボジアの魅力を発見し、参加者の皆さんと一緒に楽しんでいます。



参加された方々からの感想をJSTのホームページ内のブログにて公開しています。「JSTオリジナルツアー」をご覧ください！

←遊んでもらったお礼にお家へご案内！